

(別紙4(2))

## 目標達成計画

事業所名

グループホームわかば

作成日

令和3年2月26日

目標達成は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		一部職員ではあるが、「ちょっとまって！」「だめ！」などスピーチロックがみられることがある。	スピーチロックを無くす。	身体拘束委員がスピーチロックがあるか見回る。身体拘束の研修の他にスピーチロックのみの研修を行う。言葉の言い換え表を職員の見やすい場所に掲示する。タブレットやスマホから見られる研修動画（マナー接遇など）を職員全員が見て、小テストなどを行い管理者が評価する。	3か月
2		地域との連携をもっと強化する。	地域との連携をさらに強化することができる。	運営推進会議の活用（本年度は手紙でのやり取りのみだったので、スピーディーな地域連携はできなかった。コロナウイルス感染が落ち着き次第、対面での会議を早急に行い生の声で情報を収集したい。） 近所との連携も強化していきたい。一部のご近所様とは良い関係を築いているが、もっと地域を広げて多くの住民にグループホームの内情を知っていただく。	6か月
4					